

**1. 基本情報**

- (1) 国名：セネガル共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：サンルイ州ダガナ県，ポドール県
- (3) 案件名：セネガル川流域灌漑稲作計画（The Project for irrigated rice production in Senegal river）
- (4) 計画の要約：本計画は，セネガル川流域のダガナ県とポドール県において，灌漑及び関連施設の拡充・改修並びに農業機械の調達等により，灌漑稲作の効率化と生産性の向上を図り，もって食料安全保障の強化及びコメの輸入削減による貿易赤字の軽減に寄与する。

**2. 計画の背景と必要性**

- (1) 本計画を実施する外交的意義

セネガル共和国は，国際場裡において我が国と基本的な立場を同じくする友好国であり，開発協力の実施による協力関係の維持・強化は重要である。

我が国は，TICAD VI において，食料安全保障の促進のために CARD（アフリカ稲作振興のための共同体）において農民 6 万人及び普及員 2,500 人に稲作技術の普及を行うことを表明しており，本計画はそれに寄与するものである。

また，セネガルは，地理的にも西アフリカ内陸国への玄関国として，流通及び経済活動などの地域拠点となっていることから，同国への支援は，西アフリカ地域全体の安定と発展にも貢献することが期待できる。

- (2) 当該国における灌漑稲作セクターの現状・課題及び本計画の位置付け

セネガル共和国（人口約 1,541 万人，1 人当たり GNI950 ドル，2016 年，世界銀行）の国家開発計画「セネガル新興計画（以下，「PSE」という。）」（2014 年）の 3 本柱の一つである「経済と成長の構造改革」では，食料安全保障の強化と貿易赤字の是正が掲げられ，農業を経済成長の原動力として位置付けている。また，農業政策「農業開発加速化プログラム（以下，「PRACAS」という。）」では，主食であるコメを戦略上重要な作物として，2017 年までに粳ベースで 160 万トン，2018 年開始の PRACAS2 では 2022 年までに 210 万トンの生産目標を掲げている。他方，2016 年のコメの国内生産量（粳）は 88 万トンに留まり，97 万トンを入力（精米）に頼るなど（FAOSTAT），生産量の増大及び貿易赤字の是正に向けて更なる努力を要する。

国土の北部を流れるセネガル川の流域は，灌漑開発のポテンシャルが高く，PRACAS で設定された全生産目標の約 60%を同地域で担う計画となっている。同流域の灌漑開発や維持管理を担うセネガル川デルタ・セネガル川ファレメ流域灌漑整備開発公社（以下，「SAED」という。）は，上記の目標達成に向け，小中規模の灌漑を中心に流域全体の灌漑稲作適地のうち 63%を開発済みであるものの，特に下流に位置するダガナ県，ポドール県では整備後 30 年以上経過し老朽化した灌漑地区も多く，また，既開発地（約 8 万 ha）での放棄地の存在や貯蔵

施設の不足による籾の変質・劣化が問題になっている。そのため、灌漑施設や関連農業インフラの整備等を通じた効率的な稲作の実現が求められている。

本計画は、セネガル川流域において、灌漑及び関連施設の拡充・改修並びに農業機械の調達により、コメの生産量の増大と輸入削減による貿易赤字軽減に貢献するものであり、PSE 及び PRACAS の目標達成に資するものと位置づけられる。

### 3. 計画概要

#### (1) 計画概要

##### ① 計画内容

ア) 灌漑排水施設の拡充・改修（約 9,000ha を想定）

イ) 関連農業インフラ（農道、倉庫等）建設及び整備

ウ) 農業機械（トラクター、コンバインハーベスター、精米機等）

エ) コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工管理等）

※費用対効果、技術的妥当性等の観点を踏まえてサブプロジェクトの選定基準を先方政府と協議のうえ決定する。同選定基準に基づき、小中規模灌漑区を中心とするリストを基に実施段階でサブプロジェクトを決定予定。

② 期待される開発効果：効率的な灌漑稲作の実現を通じて、単収（モミ）の増加、食料安全保障への貢献等が期待される。

③ 借入人：セネガル共和国政府（The Government of Republic of Senegal）

④ 計画実施機関／実施体制：セネガル川デルタ・セネガル川ファレメ流域灌漑整備開発公社（SAED）

⑤ 他機関との連携・役割分担：特になし

⑥ 運営／維持管理体制：主に生産者組合や灌漑ユニオンが担う。

#### (2) その他特記事項

- 他援助機関の対応：フランス開発庁はダガナ県とポドール県において、小規模灌漑施設の拡張・改修、農道開発及び生産者組織の能力強化を目的としたプログラムを実施中。本計画とは対象地区の棲み分けを行う。アフリカ開発銀行はセネガル川流域コメバリューチェーン開発プロジェクトを準備中。

- 環境社会配慮のカテゴリ分類：B（「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010年4月公布）に掲げる農業セクターのうち大規模なものに該当せず、影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。）

- ジェンダー分類は、GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）に該当するが、調査にてジェンダー主流化ニーズを確認する。

### 4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- フィリピン共和国向け「農地改革インフラ支援事業（2）」の事後評価結果等から、実施機関による灌漑施設の定期的なモニタリングと、灌漑施設の運営・維持管理を担当する組合への適切な助言及び技術支援を継続的に行うことが重要との教訓が得られている。本計画においては、実施機関のモニタリング能力等に関するコンサルティング・サービスを含めることを念頭に同 TOR を検討する。

以上

セネガル川流域灌漑稲作事業 地図

